

標準寒天培地 (PCA)*For microbiological control only*

Standard Methods Agar

42045	ボトル培地	6本(200ml)
43558	平板培地	20枚(90mm)
51072	粉末培地	500g

貯蔵法

ボトル培地: 2-25

平板培地: 2-8 暗所保存

粉末培地: 2-30

組成(g/l)

カゼインペプトン*	5
酵母エキス	2.5
ブドウ糖	1
寒天	15
pH7.0	

*動物由来原料

原理

標準寒天培地は、フランス標準法 NFV 08-011 (ISO4833) および NF V 08-051 に準拠しています。人あるいは動物用の食品中における、30 °C の好気条件で発育する一般細菌、酵母様真菌、カビなどの菌数測定に使用します。
この培地は、37 °C の水中で生息する微生物の菌数測定の標準法 XP T90-401 にも準拠しています。

培地の調整法**ボトル培地:**

1. キャップを緩めて下さい。
2. 沸騰湯浴中で培地を溶解し、45 °C に冷まして下さい。

平板培地:

使用前に培地の表面を乾燥させる必要はありません。

粉末培地:

1. 本培地 23.5g に精製水 1L を加えます。
2. よく混合します。
3. 混合しながら緩やかに加熱します。
4. 沸騰させます。
5. ボトルに分注します。
6. 120 °C で 15 分間オートクレーブにかけます。

使用法**混尺法を用いる場合:**

滅菌済のシャーレに検体原料溶液あるいは検体希釈液 1ml を分注した後、培地約 15ml をシャーレに注ぎます。培地と菌液を慎重に混合後、冷えた水平な場所に静置し培地を固化させます。シャーレを逆さにして 30 °C で 72 時間程度まで培養して下さい。培養後、コロニー数が 15 ~ 300 個の培地の結果を採用します。水の菌数測定に用いる場合は 37 °C で 22 時間培養して下さい。

表面塗抹法を用いる場合:

検体液あるいは検体希釈液 0.1ml を培地表面に接種し、慎重にかつ速やかに検体を塗り広げます。

自動接種装置を使用する場合は、その装置の手順書を参照してください。

培養後、プレート上のコロニー数を計測してください。

参考文献

1. Norme AFNOR NF V 08-011 (ISO 4833). Directives générales pour le dénombrement des microorganismes – Techniques par comptage des colonies obtenues à 30 °C .
2. Norme AFNOR NF V 08-051. Méthode de routine pour le dénombrement des microorganismes. Méthode par comptage des colonies obtenues à 30 °C .
3. Norme AFNOR XP T 90-401. Essai des eaux. Dénombrement des microorganismes revivifiables à 37 °C .

廃棄処理

起こりうる危険を適切に考慮の上、使用者の責任の元、廃棄産物や流出産物はそれぞれの危害毒性や度合いを考慮し、地域の適切な規制に従って廃棄して下さい。

(問い合わせ先)

製品関連

シスメックス株式会社 CSセンター

臨床(病院、臨床検査センターなど) TEL: 0120-265-034

産業(企業、保健所など) TEL: 0120-022-328

注文・納期・在庫関連

シスメックス・ピオメリュー株式会社

TEL: 03-6834-2666(代表)



シスメックス・ピオメリュー株式会社

東京都品川区大崎一丁目2番2号
大崎セントラルタワー8階

bioMérieux sa

69280 Marcy-l'Etoile / France

Tel. (33) 04 78 87 20 00 / Fax (33) 04 78 87 20 90

<http://www.biomerieux.com>

The logo is a registered and protected trademark of bioMérieux sa or one of its subsidiaries.